



# 笛吹市 議会だより

平成24年7月23日発行

# 2012 Vol.31

GIKAI DAYORI



FUEFUKI CITY

あいおき  
相興保育園(一宮町)

「七夕まつり」が実施され、園児が自分の夢や将来なりたいことを、真剣な面持ちで、色とりどりの短冊に書き、お願いごとをしました。これから先、どんな未来が待っているのか大変楽しみです。





笛吹市

# 議会だより 2012 Vol.31

表紙 ..... 1

あんない・議会日誌・会期日程 ..... 2

荻野市長・行政報告 ..... 3

6月定例議会で決まったこと ..... 4 ~ 5

一般質問(12人) ..... 6 ~ 11

龍澤 敦議員	前島 敏彦議員	大久保俊雄議員
志村 直毅議員	中川 秀哉議員	渡辺 正秀議員
風間 好美議員	亀井 和子議員	川村 恵子議員
新田 治江議員	北嶋 恒男議員	野澤今朝幸議員

委員会レポート ..... 12 ~ 13

市民リレートーク / 編集コラム笛吹川 ..... 14

## あんない CONTENTS



### 議会日誌 GIKAI diary

#### 3月 March

- 1日 東山梨行政事務組合議会
- 2日 峡東地域広域水道企業団議会
- 5日 常任委員会(付託事件審査)
- 6日 常任委員会(付託事件審査)
- 8日 議会運営委員会、全員協議会  
本会議、広報編集委員会
- 9日 常任委員会(付託事件審査)  
笛吹市リニア水資源有効活用協議会
- 12日 常任委員会(付託事件審査)
- 13日 市内中学校卒業式
- 14日 常任委員会(付託事件審査)
- 16日 議会運営委員会、全員協議会、本会議
- 21日 議員研修会
- 22日 市内小学校卒業式
- 23日 東八代広域行政事務組合議会
- 27日 上芦川地区茅葺古民家「藤原邸」竣工式
- 28日 甲府・峡東ごみ処理組合議会

#### 4月 April

- 1日 笛吹市消防団入隊団式
- 2日 デマンドタクシー本格運行出発式
- 5日 市内小・中学校入学式
- 8日 第8回笛吹市桃の里マラソン大会
- 9日 山梨県市議会議長会正副会長会議
- 10日 広報編集委員会、台湾「南投県」訪問団歓迎レセプション
- 15日 川中島合戦戦国絵巻
- 16日 山梨県市議会議長会定期総会
- 23日 東京電力要望書提出
- 24日 定例全員協議会、議会改革検討委員会  
笛吹市赤十字奉仕団定期総会

- 25~26日 東山梨環境衛生組合議会議員県外視察研修  
関東市議会議長会第78回定期総会
- 27日 笛吹市植樹祭  
山梨県市町村長・市町村議会議長会議

#### 5月 May

- 15日 23年度マニフェスト検証会
- 21日 三重県松阪市議会会派行政視察
- 22日 定例全員協議会  
全国温泉所在都市議会議長協議会第41回総会  
議会改革検討委員会小委員会
- 23日 第88回全国市議会議長会定期総会
- 24日 東京電力電気料金値上げに関する説明
- 25日 全国市議会議長会天皇陛下拝謁  
リニア中央新幹線計画説明会
- 30日 中日国交樹立40周年記念組織委員会訪問団歓迎レセプション

#### 6月議会・会期日程

- |  |  |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・閉会</li> <li>・質疑・討論・採決</li> <li>・各委員会の審査報告</li> <li>・本会議</li> <li>・議会運営委員会</li> <li>・6月28日(木) 全員協議会</li> <li>・件審査</li> <li>・各常任委員会 付託案件・事件</li> <li>・6月22日(金)・26日(火)</li> <li>・一般質問</li> <li>・6月19日(火)・21日(木)</li> <li>・総括質疑・付託</li> <li>・市長行政報告</li> <li>・提出議案の説明</li> <li>・会期の決定</li> <li>・会議録署名議員の指名</li> <li>・本会議</li> <li>・6月18日(月) 全員協議会</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・開会</li> <li>・6月18日(月) 全員協議会</li> </ul> |
|--|--|



# 荻野市長の行政報告

## 市民の安全・安心な暮らしを目指し 市民第一主義の市政運営に取り組みます

### 大型施設整備事業の状況

急激な少子高齢化による現役世代の顕著な減少、長引く経済の低迷とデフレなどのなか、社会保障と税の改革は喫緊の課題です。選挙制度改革についても議論されていますが、国民の声が十分に反映される制度改革を期待しますが、いずれも市民および本市に影響が大きな問題ですが、地域主権を担う自治体として、市民の安全・安心な暮らしの実現のため、市民第一主義の市政経営に取り組んでいきます。

#### 石和温泉駅周辺整備事業

南北自由通路も含めた実施設計に取り組んでいます。国道140号とのアクセス道路は下水道工事を進め、電線共同溝工事等に着手します。

#### バイオマスセンター建設事業

27年度供用に向け、施設建設用地の取得、建設・運営事業者の選定にかかる実施方針、要求水準書の公表および事業者の選定などに取り組んでいます。

#### 砂原橋架け替え及び周辺道路整備事業

橋台・橋脚については、本年度残り3基の工事に着手します。周辺道路整備についても用地買収を進めています。

#### 多機能アリーナ建設事業

実施設計は本年2月に業務発注し、詳細な設計を進めています。管理運営については、3月に完成した「管理運営基本計画」を基に、具体的な検討を重ねていきます。

#### 八代ふるさと公園拡張整備事業

現在、用地買収を終えていない残りの用地について、交渉を継続しており、早期に造成等の工事に着手できるように取り組みます。

### 第一次笛吹市総合計画の主な事業

#### 1 デマンド交通運行事業

4月から本格運行を開始しました。利用促進に取り組み、効果的で持続可能な公共交通網の構築に努めます。

#### 2 (仮称)笛吹スマートIC整備促進事業

中央道八代バス停付近に計画中の(仮称)笛吹スマートICの整備は、28年3月の供用開始を目標に、関係機関と協議・調整する中、実施設計・調査測量を進めます。

#### 3 本庁舎等耐震・改修事業

災害発生時、災害対策本部を設置し拠点施設となる市役所本庁舎については、市民に安全・安心に來庁していただけるよう、平成26年の工事完成を目指し、設計業務を進めています。

#### 4 消防の広域化と消防救急無線のデジタル化

消防本部間の格差解消は難しく、一本化は厳しい状況です。消防救急無線のデジタル化は、県一消防本部実現が見えない現状により、消防本部ごとに単独で整備することになりました。

#### 5 環境への取り組み

環境保全活動を市全体の取り組みに広げ、持続可能な社会の構築を目指すため、県内自治体では初めてとなる、環境経営システム「エコアクション21」の認証取得宣言を行いました。

#### 6 学校教育

知・徳・体のバランスのとれた学力向上のため、学力向上研究委員会で作成した成果物を授業で利用し、各小中学校で利用実践を始めています。また、緊急時、学校が保護者と連絡を取る方法として、「安全安心メール」を構築しました。

#### 7 総合計画後期基本計画策定事業

まちづくりの基本理念や将来像達成するための方向を定めた第一次笛吹市総合計画を20年に策定、5年目となる今年度、前期施策の検証を行い、25年度から5年間の後期施策について検討を行います。

6月定例議会における荻野市長の行政報告を要約したものです。



# 人事

人権擁護委員に

渡邊氏の推薦を承認

渡邊 明文

石和町中川289番地

昭和23年9月23日生

## 議員表彰

「全国市議会議長会」

総会において議員在任10年以上表彰を受けました。

6月18日の本会議で、小林始議長から表彰の伝達がありました。



(写真左から)  
降矢好文議員、龍澤敦議員  
中村善次議員、新田治江議員

## 意見書

30人以下学級実現、義務教育費国庫負担制度拡充を図るための意見書

一、少人数学級を推進すること。具体的学級規模は、ODCD諸国並みのゆたかな教育環境を整備するため30人以下学級とすること。  
一、教育の機会均等と水準の維持向上をはかるため、義務教育費国庫負担制度の堅持とともに国負担割合を2分の1に還元すること。  
一、教育条件の格差解消を図るため、地方交付税を含む国における教育予算を拡充すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成24年6月28日

山梨県笛吹市議会議長

小林 始

内閣総理大臣 殿  
内閣官房長官 殿  
文部科学大臣 殿  
財務大臣 殿  
総務大臣 殿

原発依存からの早期脱却を求める意見書

昨年3月11日に発生した東日本大震災による東京電力福島第一原子力発電所の事故は、チェルノブイリ級の最大・最悪といえるレベル7の事故となり大惨事を引き起こした。今後、30年以内に88%の確立で発生すると予想されている東海地震の規模は、東海・東南海・南海が連続し超巨大地震となるとの想定もある。中部電力浜岡原発はこの地震の震源域の真上にあり、提出する。

平成24年6月28日  
山梨県笛吹市議会議長

小林 始

内閣総理大臣 殿  
内閣官房長官 殿  
原発担当大臣 殿  
経済産業大臣 殿  
環境大臣 殿  
財務大臣 殿  
衆議院議長 殿  
参議院議長 殿  
静岡県知事 殿

公的年金2.5%引き下げに反対する意見書

厚生労働省は「特例水準」を解消するとして、3年間で2.5%の引き下げを行うおつもりです。高齢者を取り巻く状況は当時と比較しても、ますます厳しさが増しているにもかかわらず「特例水準解消2.5%削減」

削減は行わないこと。以上、地方自治法第99条の規定に基づき意見書を提出する。

平成24年6月28日

山梨県笛吹市議会議長

小林 始

内閣総理大臣 殿  
厚生労働大臣 殿

**問** 合併8年、今後の市政運営は

**答** 引き続き市政を担う決意



龍澤 敦議員  
( 笛政クラブ )

龍澤敦議員 荻野市長は2期8年にわたり、市民第一主義の行政方針に基づき、まちづくり基本理念や、10年後の将来像実現のため積極的に財政改革に取り組み、事務事業の見直し、職員適正化計画の推進など、市政運営に取り組んできたが、総合計画前期基本計画期間が本年度で終了し、来年度より後期基本計画期間となるなど、市の基盤づくりの集大成を迎える時。

8年間を精査し、成果と課題は、合併特例債活用 of 考えと財政見通しは。

継続して市政運営を望むが、市長の思いは。

荻野正直市長 市を発展させるため、5つの柱を掲げた。情報公開先進都市、市政クイックアンサー制度の実現。温泉・医療・果樹農業と融

合する観光都市の構築。市民参加型の市政運営。笛吹ブランドの確立とトップセールス。行政効率化。

すべての施策において成果が表れており、総合計画で描いた将来像の実現に向け着実に前進している。前期基本計画期間の施策を振り返り、庁内組織において3月より検証作業を行っている。総合計画審議会、後期基本計画策定市民ワークショップなど5月より検討組織を立ち上げる。

今後も事業を精選した上で、都市基盤の整備に合併特例債を活用する。3月、当初予算を基本に28年度までの中期財政計画を公表。期間中、330億円 of 合併特例債を借り入れ予定。毎年、計画を見直し健全財政に努める。

安心・安全な暮らしの実現、未来のための人づくりに必要不可欠な基盤整備である大型施設整備の完遂、健全な行政の確立、小さな市役所による行政経営の実現など、取り組むべき多くの課題がある。引き続き市政の舵取りをすることが、市民に対する私の責任であり、使命と考えている。

**問** 石和温泉駅前の安全確保を

**答** 駅前交番設置を働きかける



前島敏彦議員  
( 笛政クラブ )

前島敏彦議員 犯罪防止・解決の観点から、石和温泉駅と春日居駅周辺に防犯カメラを設置したが、設置前後における駅周辺の犯罪件数の現況は。

全国各地で事故・事件・犯罪など、駅でのトラブルが増えている。駅周辺を整備するに当たり、駅前交番の設置を望む。

山下真弥総務部長 石和温泉駅南口から石和橋の間に19台、春日居駅周辺に9台設置した。設置後の24年1月から5月までは、昨年と比べ石和地区の刑法犯罪、窃盗犯罪が29件減少、駅周辺の乗り物の窃盗は16件減少している。

中央線沿線のほとんどの駅は、近くに交番がある。石和温泉駅は1日平均5千人を超える乗降客があり、交番の必要性は高い。県警との協議

では前向きな感触もある。今後も強く要望していく。

**問** 甲斐国分寺・国分尼寺保存整備は

前島議員 国指定の甲斐国分寺・国分尼寺跡の整備は、一宮町時代を含め長期にわたり実施されているが、財政が厳しい中で、現在までの整備進捗状況、補助金、今後の進め方、最終的な形や、要する期間等を問う。

**答** 財政や補助金を勘案して進める

仲澤和朗教育部長 跡地整備のため公有化は70%以上、約5・5ヘクタールを取得。市の負担は10%。建物の復元、出土品等の展示施設の設置、周辺整備等が考えられる。本格的な寺院建設は1棟で10数億円が必要。デジタル端末を利用し、CGで全体像を再現する技術もある。学術的検討を加え、補助金や財政状況も勘案し整備案を策定。

**問** 歩道整備の具体的取り組みは

**答** 国、県、警察等と連携して



大久保俊雄議員  
( 笛政クラブ )

大久保俊雄議員 4月には全国で、登校中の児童の列に車が突っ込み、死傷者が出る痛ましい事故が相次いだ。笛吹市内を振り返ると、渋滞の抜け道になって幅員の狭い道路、ガードレールも白線もない危険な道路が目につく。学校において安全と思われている通学路に、隠れた危険がないか、再点検が急務だ。

山梨県は通学路の安全確保、交通環境の点検を各市町村に求めた。現状把握と本市の取り組み、講じた措置は。

現状を把握・分析したうえで、県に対しどのような具体的取り組みを求め、市としてどのように整備の要望をし、優先順位をつけて対応するのか。

通学路の安全を見直す中、市全体の道路事情の調査の必要性を痛感す

る。バリアフリー化についての市の見解は。今後の取り組みは。

仲澤教育部長 県教育委員会の緊急メッセージを受け、市内の全学校長に通学路の緊急点検と報告を求めた。各学校は危険個所の確認、通路の変更など必要な措置を講じた。歩道整備、交差点改良、信号機・横断歩道・グリーンベルト・注意看板の設置・整備など、64件の要望が寄せられた。

現在、各校からの整備の要望を教育委員会として取りまとめている。緊急性や実現性を踏まえ、教委の対応で実現可能な案件は早急に対応したい。県や警察など関係機関の協力が必要な事項も、早期実現を強く要望していく。

バリアフリー化された生活環境は、市民生活に不可欠な社会基盤と認識している。アップダウンのない歩道への改修、駅周辺の道路整備等は、交通バリアフリー計画をもとに、国道・県道の歩道整備を関係機関に要望し、市道についても区画整備事業と提携して取り組む。

**問** 防災・災害対策の取り組みは

**答** 計画の見直しは3月までに



志村直毅議員  
( 笛政クラブ )

志村直毅議員 市の地域防災計画見直しが進んでいるが、避難所となる施設運営の想定や、関係者からの意見も聴取し、実効性ある防災計画策定が急務だ。進捗状況・今後のスケジュールは。

消防署3出張所は老朽化している。更新等の計画はあるのか。消防職員の充足率は県平均をやや下回るが、増員の必要性は。

山下総務部長 6月から10月に消防・警察などの関係機関や庁内で協議、修正案を作成し防災会議で決定、12月にパブリックコメントを実施、県への報告後、来年3月完成を予定している。

中込富美雄消防長 昨年9月、消防庁舎整備の検討委員会を立ち上げ、建設場所や規模等について検討している。

本市消防職員の充足率は51・8%で、県下10消防本部平均より若干低い。現場到着時間や防火立ち入り検査数等は県内トップクラスだ。また、県内有数の消防団員が大きな力となっている。

**問** 下水道整備の課題は

志村議員 石和中学校周辺の下水道整備は。

多機能アリーナ施設周辺を含めた下水道整備は。

八千蔵・高家の災害ストックヤードは、下水道施設の状況から他用途の用地利用も検討を。

**答** 順次事業を推進する

松岡利明公営企業部長 石和中学校周辺は、24年度に設計業務、25年度末までに下水道共同柵設置、32年度に完成の予定。

アリーナの運営計画の策定の中で検討する。関係4市の対策協議会で検討する。

**問** 先進自治体に学ぶ防災・減災対策は

**答** 自主防災組織を強化する



中川秀哉議員  
(公明党)

中川秀哉議員 笛吹市内の空き家等に対する見守り体制の強化は、防災教育と避難経路の再点検は、家具の転倒防止器具設置や、ガラス飛散防止対策にかかる費用の高齢者世帯、低所得者世帯への公費負担は、防災士資格取得費用への公費助成は、

笛吹市版の防災ブックレット・災害時安心シートの発行は、

山下総務部長 空気が乾燥する冬季を中心に、消防団が防火のための警ら活動を実施している。空き家所有者には、防火・防犯の観点から責任を持った管理が望まれる。市として啓発に力を注ぐ。

東日本大震災後、改めて地域の絆が再認識されている。市としても、リーダー研修会への参加呼び掛け等、

自主防災組織の充実を促進する。避難経路は、実際歩いて確認しておくべきだ。出先、仕事先での避難も想定しておきたい。

地震による負傷の約4割が家具の転倒。就寝位置の工夫、転倒防止対策は重要だ。公費補助は今後の検討課題としたい。

防災士は災害時に被災者支援や被害軽減活動を、平時に家庭・職場や地域での防災訓練、防災意識啓発の活動が期待されている。県が本年度から3年間、資格費用の助成を行っている。実施状況等を調査して検討する。

防災に関する日ごろの心構えや、備えるべき物のリスト等は広報に掲載する。防災情報は多岐にわたり、ポリニュームがある。繰り返し広報に掲載し、お読みいただくことが肝要と考える。6月に各世帯に配付した暮らしの便利帳にも、防災情報を盛り込んだ。災害時安心シートは、救急医療情報シート等を参考に、検討してみたい。

**問** 中期財政計画と財政対策は

**答** 情勢変化に対応し修正を加える



渡辺正秀議員  
(日本共産党)

渡辺正秀議員 地方交付税の増額など国の対策は、今後も期待できると考えているのか。

計画では28年度に、財政シミュレーションより22億円多く基金が貯まる。平成33年に赤字転落を1年先延ばしにするにすぎないのでは。

行政改革大綱は26年以降、扶助費削減に取り組むとしているが、具体的な内容は、

事務事業の精査についての考えは、

風間和仁経営政策部長 中期財政フレームは26年度まで、地方の一般財源総額確保がうたわれている。財政規模の維持が可能と考えている。

計画は策定時点の当初予算、制度の継続が前提となっている。実際には社会情勢の変化の把握、年ごとの計画修正が必要と考えている。

住民福祉の根幹であり単一的削減

は困難。経費抑制と扶助費の適正化を図る。

800を超える事務事業の妥当性・効率性・公平性などを検証し、今後の方向性を示せるシステムの構築に取り組んでいる。

**問** リニア建設促進の撤回、被害対策強化を

渡辺議員 笛吹市境川町への駅誘致はついた。需要見通しも立たず、環境破壊も懸念される。建設に加担する理由はないのでは。

徹底した被害対策を求めるべきだ。リニアから鉄道網充実への転換を求めるべきだ。

**答** 駅周辺地域として活性化を図る

齊藤寿建設部長 交流圏拡大による経済効果に期待する。

生活環境への影響には的確に対応していく。

本市への経済効果につなぐ観点で対処する。

## 問 多機能アリーナ建設、市の見解は

### 答 市民理解に努める



風間好美議員  
(正正会)

風間好美議員 21年の市民アンケートでは約60%が反対。23年11月には住民投票を求める1万2千人以上の直接請求があった。建設反対論が多い中、昨年11月の市民ミーティングは、具体的な資料もなく、説明会を体をしていなかった。  
工期・スケジュールの遅れは、維持管理費は、建設後による本市の経済波及効果は、建設総事業費は、建設内容は、市民ニーズに合っているのか。真に市民の合意形成がなされているのか。

既存施設を参考に約8千万円と算定。山梨県の産業関連表を用いて試算した。来場者消費を中心に、県全体の経済波及効果は、単年度で3億2千万円。市だけの試算は困難。構想段階より45億円を用途にしている。現在進めている実施設計や詳細な管理運営の計画策定においてもこの金額を念頭にしている。ワークショップなどで意見を伺い、建設委員会で審議、検討を重ねている。ワークショップのメンバーを追加募集し、40人を超える市民から年次別、事業別などさまざまな切り口で意見を伺う。どんな事業でも100%の市民合意を得ることは難しいが、より多くのご理解をいただくことは欠かせない。市民ミーティング、クイックアンサー制度、行政・議会のストリーミング配信などに取り組んできた。多機能アリーナ建設についても、延べ15回、市民ミーティングをはじめ多くの機会に説明してきた。今後も理解を得られるよう努力していく。

## 問 消費税増税に反対の意思表示を

### 答 増税は一概に反対と言えない



龜山和子議員  
(日本共産党)

龜山和子議員 消費税増税は、市の基幹産業である農業・観光事業に影響し、深刻な打撃を与える。消費税増税反対の意思を、国に示すべきでは。経済活動や暮らしに与える影響は、市財政に与える影響は、風間経営政策部長 消費税増税分は年金や医療費など社会保障費の財源となり、一概に反対とは言えない。税率改正直後は悪化するが、次第に安定する。地方消費税交付金は7億円以上の増額を見込む。

広域化で市が抱える国保問題の何が解決できるか。また、市民の負担や給付などはどうなるか。広域化後も保険税値上げ抑制のため的一般会計からの繰り入れや、独自策はできるか。定率国庫負担削減による市への影響は、  
河野修市民環境部長 財政運営改善には一層の努力と工夫、医療費の適正化や収納率向上に取り組むことが必要。  
国保広域化の事業・運営主体を、市町村等にするかは現在未定であり、各保険者は健診や健康づくりなどの保健事業を展開し、健全性を確保する必要がある。  
定率2%引き下げだが、県調整金が2%引き上げ、現段階では国保会計への影響は不透明だが、22年度決算でみると、国庫負担は1億円減額になる。

**問** 福祉総合相談窓口設置を

**答** 複合課題に対応する体制をつくる



川村恵子議員  
(公明党)

川村恵子議員 福祉制度が複雑に細分化し、市民はどこに相談すればいいのか分からない。

市民の立場でワンストップ相談ができ、専門的資格を持つ相談員を配置し、どんな支援が必要かを総合的に検討し、解決できる福祉総合相談窓口の設置を。

荻原明人保健福祉部長 福祉全体の連携と、福祉窓口をわかりやすくするよう努めてきたが、様々な問題に目を向けた支援・対応が必要な場合もある。相談の聞き取りから、支援対応につながるルートの確立に努める。

ワンストップ相談窓口体制は専門職だけでなく、一般職の相談支援の資質向上を図るため、職員の意識改革や、複合課題に対応できるチーム体制づくりに取り組む。

**問** うつ病対策は

川村議員 携帯電話やパソコンで、メンタルヘルスを確認できる「こころの体温計」導入自治体が増えた。自殺防止に精神症状や心の状態をセルフチェックし、早期発見や診療に役立てるため、ホームページでサービス提供できるよう導入を。

**答** 「こころの体温計」導入を検討

荻原保健福祉部長 市民対象に心の健康相談を年4回実施、22年度から自殺予防対策としてゲートキーパーの養成講座を実施し、問題を抱える人に対応できる方を養成している。「こころの体温計」導入自治体は県内にはないが、相談先も紹介され、早期発見に有効と考える。先進自治体の利用状況や効果など参考に、研究・検討したい。

**問** 境川町の土佐犬咬傷事故は

**答** 普及啓発と再発防止に努める



新田治江議員  
(正正会)

新田治江議員 境川町在住の市民が土佐犬に咬まれ亡くなった。市の指針は。

学校での取り組み、環境指導員とのかかわりは。

事件後、支所・本庁機能の見直しは行ったか。

河野市民環境部長 犬の適正飼育を、ホームページやチラシ等で指導・啓発に努めてきたが、今回の事故は大変残念。犬の飼育管理の徹底と、普及啓発で再発防止に努めたい。

行政や地域住民と学校との連携が必要で、危険や心配等、地域・保護者と学校が、密接な情報交換が重要な地域の環境指導員には、速やかな情報提供をお願いしていきたい。

峡東保健所・本庁・支所担当者が同行し、咬傷犬の飼い主に指導と措置命令を行った。今後も一層の適正

飼育・管理徹底を図り、保健所・市環境推進課や支所による連携を強化し、対応したい。

**問** 笛吹市名誉市民表彰は

新田議員 名誉市民表彰が合併協議項目の中に入っている。旧町村の条例を踏まえ、どう調整・検討されたのか、進捗状況は。

**答** 称号授与の準備を進める

風間経営政策部長 名誉市民表彰は合併協議の中で、新市において新基準で選定されることとしている。合併以降の功績に対する表彰は、表彰規定を設け、特別功績者、功績者の表彰で対応してきた。選考基準は、市の名声を高め、ある程度の在任期間など合わせ要件となるが、名誉市民称号を授与する機会も予想されるため、準備を進めていきたい。

**問** アリーナ建設構想は中止が妥当

**答** 交差点改良など関係者と協議



北嶋恒男議員  
(市民派クラブ)

北嶋恒男議員 少子高齢化時代に無駄な施設として誰が考えても明白だ。立地条件が悪く、これ以上建設予算をかける、借金返済時期が心配だ。20号線成田交差点から、アリーナ計画地入口までが近すぎる。交差点の渋滞策を示せ。

石和温泉駅利用者の利便性を考え、成田地区までの交通機関確保を示せ。旧町村施設利用者も減少が予想され、維持管理料負担は財政圧迫だ。現在の指定管理料の総額は、

風間経営政策部長 アリーナ進入路の渋滞は、いかに車両を分散させるかが課題で、成田交差点改良や道路整備など、協議を進めている。

現在往復7便を運行、経路や便数等検討する。

57施設に指定管理者制度導入、5億6、400万円。

**問** 笛吹スマートICの地域活性化策は

北嶋議員 供用開始に向け、地域活性化策を示せ。

遊休農地活用策で、貸農園、新規就農支援策は、

芦川方面に上る笛吹・市川三郷線の整備促進は、

自然・歴史文化を掘り起こし、地域の魅力を発見し、郷づくりへの活用を、

農産物直売所周辺の開発を、温泉源活用策、民間事業者へのPR促進を、

**答** 観光施策と地域活性化を図る

豊角英人産業観光部長 耕作放棄地に整備補助金交付、就農者支援制度もスタート。JA笛吹は営農支援センターを新設し、地域農業振興を図る。

24年度より改良整備を県で取組むことになる。

利便性向上をPRし、地域活性化を図っていく。

農業と観光施策で活性化、PRも促進していく。

**問** 沢妻亭改修に問題はないか

**答** さらになるサービス提供に努める



野澤今朝幸議員  
(市民派クラブ)

野澤今朝幸議員 指定管理施設の沢妻亭(すずらの里)は4月から新たな指定管理期間に入り、指定管理者も公募・審査し、新しい業者に入れ替わった。5月から営業を始めだが、指定管理者決定後に大きな改修がされた。このような改修のあり方に問題はないか。

豊角産業観光部長 沢妻亭、おてんぐさん、釣り堀の3施設は「すずらの里施設」で、24年度から新指定管理者と協定。沢妻亭は平成4年開業以来、築20年が経過し、老朽化が進んでいた。施設の問題点や改善点、集客増員計画など改修の必要性を認め、23年12月議会で承認された。若彦トンネル開通後より、お客を誘導できる施設で、サービス提供できるよう指導していきたい。

**問** 孤独死解消 保健師の配置を

野澤議員 芦川は交通の便も悪く医療機関も遠い。

市は芦川町で発生した孤独死をどう見ているか。

市としての対策は、

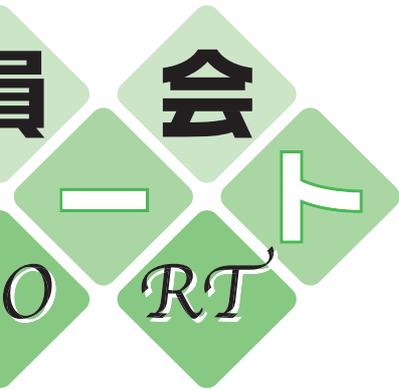
不安解消と予防から、保健師の支所への配属は、

**答** 高齢者不安解消に 取り組み

荻原保健福祉部長 比較的元気な高齢者で、地域コミュニティが存在する芦川地域では、孤独死より独居死と思われ、関係機関や地域住民自治会が連携した見守り態勢が必要と考える。

地域にある「おごっそう家」の配食サービス、元氣講座事業などに取り組み、一人暮らし高齢者の不安解消に取り組む。

保健師常駐がなくても、高齢者の不安解消や安全・安心の確保ができるよう配慮する。



## 総務 常任委員会

6月22日、25日の2日間委員会を開催。付託された条例の一部改正2件、24年度一般会計補正予算2件、訴訟上の和解1件の計5件を審査し、賛成全員4件、賛成多数1件で、いずれも原案のとおり可決すべきものと決した。主な質疑答弁は次のとおり。

- 総務部所管**
- Q** 職員が震災地に派遣されているが、放射線状況は。
- A** 南相馬市の下水道復旧事業に従事。通常勤務する庁舎は安全な地域にある。
- Q** 春日居仮庁舎駐車場整備工事は、借地場所を駐車場にするのか。
- A** 春日居賀茂春日神社北側の借地と、仮庁舎南側の2カ所を整備する。本庁舎改修後に借地は返す。
- Q** 還付加算金の率はいくらか。
- A** 年4・3%。
- Q** 事業所からの還付金が発生したが、市として税制面をどう考えているのか。
- A** 税法で決まっているが、適宜対応していきたい。
- 経営政策部所管**
- Q** 合併特例債を活用して民間施設を建設する例はあるのか。
- A** 私立保育所施設整備で合併特例債を充てたが、他の例ではない。
- Q** コミュニティ助成事業の内容は。
- A** 御坂町若宮地区、一宮町国分地区の野外放送施設

- 事業に対する助成。助成基準は上限250万円、最低事業費100万円。
- 消防本部所管**
- Q** 救急統計管理システムを買い取りにした理由は。
- A** 5年リース契約を考えていたが、100万円単位の経費削減が見込めるため住所、傷病名、搬送先、時間など、国に報告するシステム。
- 教育厚生常任委員会**
- 6月22日、25日の2日間委員会を開催。付託された平成24年度一般会計補正予算1件、特別会計補正予算3件の計4件を審査し、賛成全員2件、賛成多数2件で、いずれも原案のとおり可決すべきものと決した。主な質疑答弁は次のとおり。
- 保健福祉部所管**
- Q** 一宮福祉センターの築年数と、入居団体の代替施設移転は一時的か。

- A** 昭和48年建設で築39年移転は一時的で、地盤調査と安全確保のための一時移転経費。調査後は改修等を検討委員会で検討する。
- Q** 私立保育所施設整備事業の補助内容、富士見地区予定地と児童定員は。
- A** 県安心子ども基金を活用した事業で、要綱に基づき補助。富士見地区内に用地選定中。児童定員80人。
- 市民環境部所管**
- Q** エコアクションの市としての効果、事業主体は。
- A** 二酸化炭素削減、廃棄物抑制、省資源化など内容を統一し、全国に発信。民間事業所関係45件だが、自治体では笛吹市が初。
- Q** ジェネリック医薬品の差額通知の実態と現状は。
- A** 国もジェネリック医薬品の普及に取り組み、これに変えた場合の差額を通知している。本人が意思表示し変えることができる。
- 教育委員会所管**
- Q** 建築設計CADは、今後どのようにしていくのか。
- A** 土木専用があったが、今回建築用を購入、簡易な

- 設計は職員が行い、学校施設台帳の図面修正と保存、データ管理をしていく。
- Q** フッキーの着ぐるみの活躍の場は増えているか。
- A** 市制祭をはじめ、各種イベントなどに使う予定。
- Q** 石和中学校下水道管引きこみ4500万円の計上は。
- A** 周辺教育施設利用者が年間31万人、中学校改修の機会に、下水道を整備。



(1/3) 投票状況  
石和町山崎第二平等川



# 建設経済 常任委員会

6月22日、25日の2日間委員会を開催。付託された平成24年度一般会計補正予算1件、特別会計補正予算3件、水道事業会計補正予算1件、温泉給湯事業会計補正予算1件、市道認定1件、市道廃止1件の計8件を審査し、賛成全員8件で、原案のとおり可決すべきものと決した。主な質疑答弁は次のとおり。

産業観光部所管

Q 上芦川地域原風景復活保存事業の研修内容は。

A 25年度からの茅葺古民家「藤原邸」の本格利用に

向け、指導者育成のため2回研修、長野県と早川町赤沢地区を予定。案内看板も順次設置していく。

Q 木質ペレットボイラー導入事業補助の内容は。

A ハウス桃でのボイラー実証実験を行う。コストや環境など、重油ボイラーと比較。

建設部所管

Q 公営住宅維持管理費委託料、工事請負費の内容は。

A 市営住宅4団地の修繕を計画したが、受水槽の漏水や建物内部の劣化があり、早急な修繕が必要となった。木造個人住宅診断支援

事業の委託料増額は。

A 国・県補助金が3万円から4万5千円となり、申込者に診断内容の説明も行われるようになった。

公営企業部所管

Q 公共下水道整備事業4、500万円の内容は。

A 石和中学校から河内交差点までの、下水道管敷設計委託料と、水道管移設補償費。

Q 水道事業会計の資本的支出の用地費内容は。

A 四日市場拡張318平方mの用地取得費で、御坂浄水場配水場完成後は、四日市場配水場が受けることになる。



台風4号による境川地内現地被害視察調査(6月20日)

## 建設経済常任委員会

# 笛吹フェア

## 市産果実・消費拡大宣伝 実施報告

7月2日、建設経済常任委員会では、市長、農林振興課職員、JA笛吹の組合長と役員らで、市産果実の消費拡大を図るため、JA笛吹の系統販路先である、東京都中央卸市場大田市場等において、消費宣伝を実施しました。

大田市場では、仲卸や小売など市場関係者を対象に、市の桃の試食会を開催しましたが、今年の桃は糖度も高いため、大変好評でした。

大井駅構内百貨店の青果店特設イベント会場では、先着順で「じゃんけん大会」などに参加された方に、パンフレットとともに、桃や桃ジャムの





### 市の自給自足をめざす



御坂町（自営業）  
高野かおり

市民の生活は楽ではないのに、また電力料金が上がるそうだし、ガソリンも高い。市税も延滞すると15%の延滞金がつき、ひところより集金もきつくなった。これは、市の財政がきつことこの表れなのだろう。

国民の80人に1人が生活保護受給者になり、最近のデータでは、全体で210万人もの受給者が年々増えている状態だ。経済大国と言われた日本が、貧困率でも世界4位となるなど、誰が想像しただろうか。

絶対的に必要なものだけに、エネルギー類は、請求されれば払わなければならない。企業のつくる太陽光エネルギーなどの設備は、300万円ととても高すぎない。庶民には手が出せない。そこで提案なのだが、就職難の時代、潜在的に働き手は多い。「人手」はたくさんある。

笛吹市内の畑には耕作放棄地がある。それから山々、「資源」は都会より多い。個人、ホテルや飲食業の廃棄物である生ごみの再生可能エネルギーもある。ゆえに、市で人を雇い、耕作放棄地などに植物を植え、バイオマスを作る。それを笛吹市内のガソリンスタンドで安く市民に分け与え、その収益金で市政の運営をまかなう。きつたら、どうだろうか。

きつたら、税金が限りなく0（ゼロ）になる日がくるのでは、と思つた。

### スポーツ少年団指導員になつて



石和町（病院勤務）  
太田 郁生

スポーツ少年団で、ソフトテニスの指導を始め、10年。練習は週1回（シーズン中はナイターもあり）ですが、毎回40人ほどの子どもたちが集まり、一生懸命にボールを追いかける姿に、元気をもらっています。

私たちは上手にボールが打てないからといって、そんなに厳しく怒ったりはしません。むしろ練習や試合に臨む姿勢を大切にしています。たまに、大きな声で叱ることもありますが、その時は少しばかり神妙になつても、子どもは思ひのほかに切り替えが早く、すぐにケロッとしてしまします。こいつめえ、なんて思ひながら、そんな繰り返し。私たちがとつて、刺激になつたり、勉強させられたり、入団して初めてラケットを握る子がほとんどですが、最初からしつかりとボールを打てる子や、低学年でも高学年に負けない体力（パワー）を持つてくる子もいます。その潜在能力にびっくりさせられます。

スポーツ少年団を卒業したOBが、中学・高校で活躍する姿を見るにつけ、立派になつたなあと感じ深くなります。また、コートで会つた時など、ちよつと大人になつた分、照れくさそうにないさつさつと、私も年甲斐もなく、たわいもない話をしてみたいです。そんなひと時も冥利と感ずる次第です。

PS：新入団員およびコーチ募集中！



8月12日まで、ロンドンで4年に一度のスポーツの祭典、第30回夏季オリンピックが開催中です。かつて東京オリンピックが開かれた高度成長期、巨人・大鵬・卵焼きが流行語になりました。今回の五輪種目からは野球が外れましたが、3大陸50カ国で開催されている「競技が正式種目としての基準」ともいわれています。

世界というフィールドでみると、主流や「常識」も変わってくるという典型例がもしもありません。

笛吹市では8月21日まで夏祭りが市内各地で盛大に開催されています。そして、10月には4年に1度の市長・市議会議員一般選挙が予定されています。

「議会だより」もこの4年間、議会の活動をわかりやすく、かつ親しみやすくお伝えしようと努めてきました。

さて、前述の流行語は、元経済企画庁長官の堺屋太一氏の考案とされ、その真意は、半人前で子どもっぽい使えない大人を揶揄したものでしたか。

スポーツや政治の世界でも「本物」が必要とされる時代です。

その鍵を握っているのは、観てくださっている市民の皆さまであることは間違いありません。

（志村直毅）

MITOYO INTERFACE

9月定例議会は3日から26日までの予定です。ぜひ傍聴にお出かけください。